第13期開放講座
「水と街道」だより《第2回》

発　行：平成２３年１１月 発行
発行元：国土交通省中部地方整備局
多治見砂防国道事務所
開放講座「水と街道」事務局
電　話：０５７２－２５－８０２０

【第２回 開催概要】
開講日時：平成２３年１０月１３日(木)　１０：００～１５：３０
内容(場所)：砂防講座（中津川市栄町「にぎわいプラザ」）、砂防現場見学（滑川砂防堰堤等）

砂防講座（直轄砂防事業等）、質疑応答

午前中は中津川市の「にぎわいプラザ」で有澤砂防調査課長による砂防講座が行われ、「土砂災害から地域の暮らしを守る」と題して、当事務所の砂防事業エリア、過去の災害から今年の台風１５号による土砂災害発生状況などを講義しました。土石流の映像や被害状況の写真等により、土砂災害の恐ろしさを実感されたことと思います。砂防事業の目的、砂防堰堤の役割やその効果、台風１２号の災害に国土交通省がＴＥＣ－ＦＯＲＣＥ（緊急災害対策派遣隊）を派遣したことなどを紹介しました。

今般、土砂災害防止法の一部改正による緊急における調査・情報提供や関係機関の連携対応についても、ご理解いただけたと思います。

砂防講座に耳を傾ける会員のみなさん

H23 台風12号災害　TEC-FORCEによる支援

＜多治見第1班＞
○派遣先　　和歌山県田辺市･奈良県吉野郡十津川村
○派遣期間　平成23年9月7日(水)～13日(火)
○派遣隊員(当事務所)　1名
（他事務所派遣隊員）　4名
○現地作業　＜内容＞河道閉塞(天然ダム)現地調査

＜多治見3班＞
○派遣先　　奈良県吉野郡十津川村
○派遣期間　平成23年9月12日(月)～18日(日)
○派遣隊員　(当事務所)2名
（他事務所派遣隊員)5名
○現地作業　＜内容＞河道閉塞(天然ダム)現地調査

＜多治見2班＞
○派遣先　和歌山県新宮市
○派遣期間　平成23年9月9日(金)～15日(木)
○派遣隊員　(当事務所)5名
○現地作業　＜内容＞道路の被災現地調査等

講師：有澤砂防調査課長

【第２回 出席者データ】
多治見地区　　１３名
（会員数 １９名）
中津川・木曽地区 １４名
（会員数 １９名）
合　計　　２７名
（会員数 ３８名）

砂防施設見学（滑川砂防堰堤等）

午後からは、滑川砂防堰堤等の見学をしました。三輪上松出張所長から砂防堰堤の機能・役割の説明を受け、滑川第一砂防堰堤の天端に登った後、歩いて各砂防施設を見ながら下に降りてきました。

砂防堰堤では、堆積した土砂の撤去工事が行われており、通常より大きなダンプトラックやバックホウの作業を見ることができました。

（滑川砂防堰堤の説明をする三輪上松出張所長）

（砂防堰堤の天端に登り見学する会員のみなさん）

滑川第一砂防堰堤 諸元

（計画諸元）
貯　砂　量：309,000㎥
（構造物諸元）
形　　式：コンクリート
総　立　積：128,716㎥
主ダム高さ：22m
〃　長さ：300m

滑川砂防公園にて

平成２３年１０月１７日（月）
市民タイムス掲載

砂防工事の役割理解

木曽で国道事務所が講座

国土交通省多治見砂防国道事務所はこのほど、上松町の滑川砂防えん堤で、「水と街道地域づくりへの参加を目指して」と題した講座を開いた。公募に応じた木曽地域と岐阜県東濃地域の約30人が、滑川の歴史や自然、砂防工事の役割などを学んだ。

同事務所上松出張所の三輪勝弘所長らが講師を務めた。参加者は岐阜県中津川市内で砂防についての講義を受けた後、上松町を訪れた。紅葉で彩られた山道を歩きながら土砂の撤去作業などを見学し、水の大切さや砂防事業の重要性について理解を深めていた。

砂防や道路事業を紹介し、地域づくりに生かせる知識を伝えたいと、同事務所が平成11年度から講座を開いている。岐阜県内や木曽地域でテーマ別に年5回の講座を開き、修了者は地域で防災や森林整備、河川清掃のグループをつくるなどして活動している。

本年度受講している南木曽町田立の高橋由一さん(70)は「砂防事業などは知らないことが多く、役に立った。学んだことを地域で生かしたい」と話していた。

（萩原真一）

滑川砂防えん堤で開かれた講座。砂防事業の役割などを学んだ

地元の新聞社「市民タイムス」の取材を受ける会員さん